

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-016

PDCA	事務事業名	用悪水路改修事業(維持修繕・改修)	部課等名	建設部土木課 建設担当	担当 内線等	鵜飼 437	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 5. 治水・排水対策 単位施策： (1) 河川・ため池の能力強化 個別施策： ①河川・水路改修の推進					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	用悪水路の正常な機能確保					
	目的を達成するための手段・活動内容	用悪水路の正常な排水機能を確保するため、施設の維持修繕・改修を実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①住民要望(個票)により実施した件数	16	4	5	件	
		②住民からの口頭等の要望及び道路パトロール等での発見により実施した件数	191	162	204	件	
		③過年度要望を予算化して実施した件数	4	12	14	件	
		事業費	55,797	64,898	55,975	千円	
		人件費	8,062	8,439	8,306	千円	
		総事業費	63,859	73,337	64,281	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①一般維持修繕・改修工事1件当たりのコスト	303	412	288	千円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①水路改修箇所数	実績値	4	2	5	箇所
			目標値	3	1	4	
			実績値				
			目標値				
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	B					
		道路パトロールや住民要望を踏まえ、計画的に実施した4箇所に加え、住民通報により発覚した安全対策が必要な1箇所の水路改修工事や破損した水路の修繕を実施し、排水機能を確保することができた。 引き続き、危険箇所等の早期発見に努め、計画的に修繕、改修を実施する必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		用悪水路の適切な維持管理及び機能確保のため、住民要望や道路パトロールなどにより、危険箇所を早期発見し、緊急性及び必要性を踏まえ、計画的に修繕、改修を進めていく。					
	令和3年度の目標	成果指標	目標値			単位	
		①水路改修箇所数	2			箇所	